

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	オルクス ウロボロス		ワークス	FHチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	18歳	性別	男
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	34 %	
出自	天涯孤独	経験	実験体	邂逅	欲望：従属	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1		0			1	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	3	1	0			4	戦闘移動	13
社会	2		0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
100↓	RC	10r+4		2		装甲無視 侵：7+10+4
100↑	RC	18r+4		19		装甲無視 侵：7+17+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
リエゾンズクレスト					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	マス	消費
破壊の子	P 好意	N 執着			
テト	P 心酔	N 不安			
クランの面々	P 連帯感	N 無関心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	10	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
尾を喰らう蛇	1	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果： 1DHP失う。《背徳の理》使用								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果： 与ダメで判定+(Lv*2)D								
コンセ：ウロボロス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果： C値-Lv								
原初の赤：振動球	1	3+1	Xジャー	視界	-	<RC>	-	
効果： 攻+Lv。装甲無視。								
棘の戒め	1	1	Xジャー	視界	単体	<RC>	-	
効果： 攻+Lv。与ダメで硬直								
要の陣形	3	3	Xジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果： 対象を3体に。Lv回/シナリオ								
完全なる世界	4	5+2	Xジャー	-	-	シンドローム	100%	
効果： 判定+(Lv+1)D、攻+(Lv*3)								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 判定の出目一つ10に。Lv回/シナリオ								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【サンプルボイス】  
道満タイプかウユウタイプか未だに悩んでいる。

【パーソナル】  
元々は孤児だったところを、某FHセルに拾われ実験体にされ覚醒。その後RCを教わるも、元の自身の身体では限界があると自身が一番分かっていた。が、セル員は理解できておらず、無為な訓練とジャム化への漠然とした不安でイライラが募っていた。『自身の身体では力を十全に振るえない。もっと自由に扱えたら』。  
そんな欲望を喚びつけた蛇が、自身をクランにスカウトしてくれ、新しい身体をくれた。(※ システム的に難しい場合は、元の肉体を大幅強化してくれた)おかげで、今では十分な力を振るうことができ、テトに心酔している。以降はテトのクランでチルドレンとして活動。  
基本的に、テト様の言うことは全て正しい、テト様が言うならば誰だって殺すし、何なら自死も辞さないしジャム化もする。ただし、衝動に反する命令を受け続けた場合に自分がどう考えるかだけは、考えたくない。

【見た目・喋り方】  
一人称は、テト様の前だけは『わたくし』、それ以外は『僕』。  
飄々としており、どこか言っていることが嘘っぽい。本人的にはテト様以外どうでも良いため、ある種嘘とも言える。  
曇りガラスの眼鏡をかけており、瞳が微妙に見えない。

【戦闘スタイル】  
RCの扱いようまいのだが、最低限の出力が既に致命傷のた、普段は曇りガラスの眼鏡で直接出力がいかめなないようにしている。その眼鏡を外すことでエフェクトを使用。瞳が×色に光り、影が棘のように相手を貫く。

【備考】